

登録日 2022/4/11

レジメン名 Col040

腫瘍名 大腸がん

申請医師 消化器外科

投与スケジュール

Pertuzumab+Tmab			21日毎 × PDまで	
			1コース	2コース
			1	22 ... (Day)
①	生理食塩水 (プライミング用フラッシュ)	50 mL 点滴 5分	↓	↓
②	パージェタ 生理食塩水	420 mg 点滴 30分 250 mL	↓	↓
初回投与量: 840mg、2回目以降投与量: 420mg 初回60分投与、2回目以降30分に短縮可能				
③	生理食塩水 (パージェタ用フラッシュ)	50 mL 点滴 5分	↓	↓
④	ハーセプチン 蒸留水 生理食塩水	6 mg/kg 点滴 30分 20~40 mL 250 mL	↓	↓
初回投与量: 8mg/kg、2回目以降投与量: 6mg/kg 初回90分投与、2回目以降30分に短縮可能				
⑤	生理食塩水 (ハーセプチン用フラッシュ)	50 mL 点滴 5分	↓	↓

注意事項

- ・KRAS野生型かつ化学療法歴のあるHER2陽性の治癒切除不能な進行・再発結腸・直腸癌が対象
- ・パージェタおよびハーセプチンは、病理結果にてHER2蛋白陽性(3+または2+かつFISH法で陽性の場合)
- ・パージェタおよびハーセプチン投与の際には、心エコーによる心機能を確認する。
(低下時の対応は適正指導ガイド参照)
- ・モニタリングの頻度は、通常の患者では12週毎、無症候性心機能障害者では6~8週毎に行う。
- ・ハーセプチン投与時には、カロナール400mgを検討する。

【投与延期してから再開する際の用量】

- ・パージェタ : 前回投与から6週未満 ⇒ 420mg、前回投与から6週以上の場合 ⇒ 840mg(次回以降420mg)
- ・ハーセプチン : 投与予定日から1週間を超えた場合、初回量(8mg/kg)で投与する。

参考文献

- 1)添付文書(パージェタ 2022年3月改訂版、ハーセプチン2022年3月改訂版)
- 2)Nat med, 27, 1899-1903 (2021).
- 3)パージェタ+ハーセプチン併用療法適正使用ガイド